

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	県立伊丹高等学校 職・氏名 教諭 有本 和修	研究チーム名 (協働化推進チーム)
-----------------	---------------------------	------------------------

研究テーマ分類番号 (16)

(1)研究テーマ
教職員の協働化の推進
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>1 様々なコミュニケーションの文献による意識の高揚。 チームのメンバーがさまざまな本（労働、いきがい、コミュニケーション）の感想文という形で職員に提供した。チームのメンバーを中心にコミュニケーションのあり方について職員室内で話題に上るようになった。課題を共有する方向性が出てきた。 4月19日・4月28日・5月10日・5月26日・6月2日・6月13日・6月27日の計7回にわたって発行。</p> <p>2 協働化の一環として本校の未来像の研修会実施。 6月24日 「20年後の緑ヶ丘」というタイトルで実施した。班別研修。未来の地域の子どもたちに責任ある学校づくりを今から実行する必要を確認した。地域に必要とされる学校を作るためにコミュニケーションの重要性を確認することができた。</p> <p>3 コミュニケーション実態把握 7月11日実施。学校経営診断カードを利用しコミュニケーションの実態を把握し、全体にフィードバックし問題点を意識化する。7月19日、職員会議にて報告。 意識化した問題点を改善できるよう定期的に喧伝する。</p> <p>4 兵庫教育大学教授による講演 10月6日 仕事人としてのコミュニケーションのあり方を見つめるきっかけとした。 多くの教員が感じているコミュニケーションの違和感を確実に言語化していただき、非常に多くの教員の共感を得た講演会であった。 第2回研修会、役割交換マトリクス研修会（1月実施）につながる。</p>